

上総鑄物師の気質を感じる室町時代の鐘の響き

ぼんしょう ちょうろくさんねんざいめい
梵鐘（長禄三年在銘）



高さ 92.9cm、径 50.9cm の梵鐘には、^{かずさのくに さげぐん や たごう}上総国佐是郡矢田郷（^{じゅうにしよ}現市原市）の十二所
^{ごんげんはちまん ほうのう}権現八幡へ奉納するため、^{い も じ}鑄物師大工の鈴木国吉が^{すずきくによし むらまち}室町時代の長禄3年（1459）
に制作したことを示す銘が^{いんこく}陰刻されています。当時の上総国には鑄物師が多く、
佐是には有力な鑄物師集団が居たことが明らかになっています。形状は鎌倉時
代の^{ようしき}様式をよく守った形を受け継いでいます。平成23年（2011）に発生した東
日本大震災により^{しょうろう ひさい}鐘楼が被災したため、現在は本堂に^{あんち}安置されています。

県指定文化財：有形文化財（工芸品）

指定年月日：昭和39年4月28日

所在地：木更津市真里谷1760

所有者：宗教法人 妙泉寺

員数：1口

公開・非公開の別：非公開
